

チリのバイオマス発電CDMプロジェクトの概要

1. プロジェクト名称

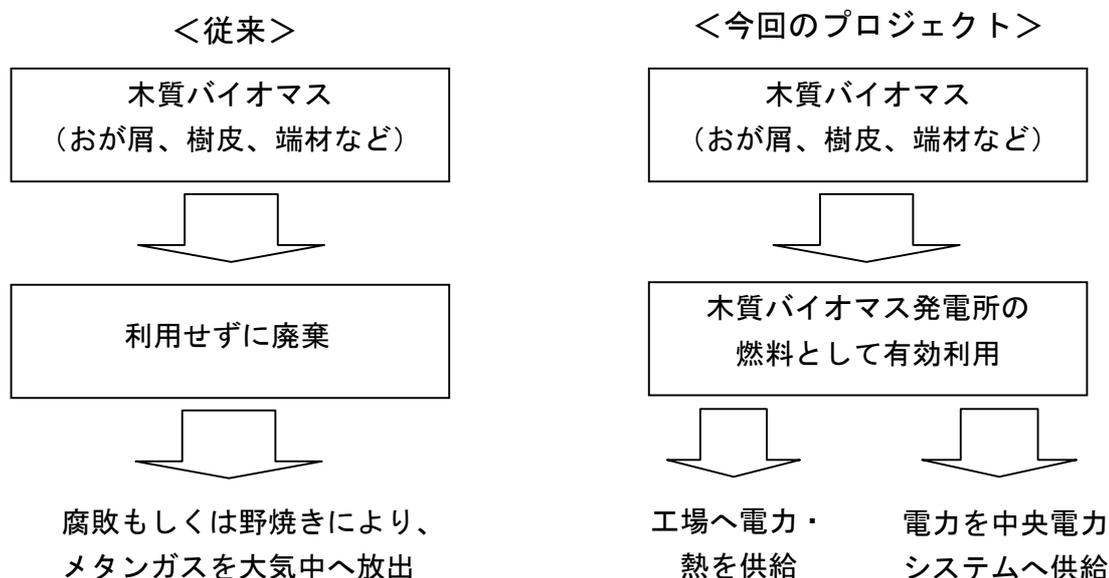
「Nueva Aldea Biomass Power Plant Phase I」 (ヌエバルデアバイオマス発電所第一期)

「Trupan Biomass Power Plant in Chile」 (チリにおけるトゥルパンバイオマス発電所)

2. 概要

- ・ アラウコ社が、同社の2つのパルプ・製材工場に、それぞれ出力3万 kW の木質バイオマス発電所を建設し、同工場へ電力と熱を供給するとともに、地元の電力系統である中央電力システム (S I C) へ電力を供給。
- ・ 木質バイオマスを有効利用することにより、メタンガスの放出が抑制されるとともに、当該地域の電力系統で利用される電力の一部がバイオマス発電に代替され、2003年から2025年までに約440万トン (CO₂換算) の温室効果ガスの削減が見込まれる。
- ・ 両発電所は既に運転を開始しており、当社は、このうち、既に国連CDM理事会から両プロジェクトに対して発行されている約48万トンの炭素クレジットを購入。

スキームのイメージ図



3. 実施期間

- ・ヌエバルデアバイオマス発電所

2005年1月1日～2025年12月31日

*今回、当社が購入する炭素クレジットは、2005年1月1日から2006年9月30日までの発行分の約15万トン。

- ・トゥルパンバイオマス発電所

2003年5月1日～2023年4月30日

*今回、当社が購入する炭素クレジットは、2003年5月1日から2006年9月30日までの発行分の約33万トン。

4. 実施場所

チリ・第8地域



チリ第8地域内の、ヌエバルデア産業団地とトゥルパン産業団地で操業している、アラウコ社の2つのパルプ・製材工場でプロジェクトを実施。

5. 発電設備

総出力3万kWのバイオマスコージェネレーション発電機×2基



ヌエバルデアバイオマス発電所



トゥルパンバイオマス発電所

6. 予想される温室効果ガス削減量

約 440 万トン (CO₂換算)

<2003 年～2025 年までの 2 つのプロジェクトによる合計>

*今回、当社が購入する炭素クレジットは、このうちの約 48 万トン。

以 上